

令和元年8月26日

第8回（8月）

定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

令和元年8月 定例教育委員会会議 議事録

1. 日 時 令和元年8月26日(月) 14時00分

2. 場 所 43号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専

4. 出席事務局職員

教育次長兼教育振興課長	前田 偉知雄	生涯学習課長	宮脇 浩司
教育審議員	永杉 尚久	指導主事	川富 一弘
課長補佐兼学務係長	畑山 鉄也	教育政策係長	吉村 麗月
社会教育係長	馬場 理恵子		

- 教育長 ○開会宣言 令和元年 8 月 26 日（月）14 時 00 分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名（旭田委員）

1. 前回会議録の承認
2. 議案

【議第 28 号 荒尾市地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について（生涯学習課）】

○事務局説明

○質疑

委員	来年は本組織の下に、下部組織を立ち上げるのか。
事務局	はい。実際、現場で実働されている方々やその他関係者の方々に構成する組織に、地域の方々に入っただけだと考えている。
委員	この委員の資料を見たら、校長会に社会教育委員長が一人入っただけであるが、どうなのか。
事務局	各校長には入っていただきたいという大前提があり、ご理解いただきたい。
委員	機動的な組織であるということはいいいことであるが、設置要綱の第 3 条には、行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、地域住民代表等とあるので、例えば、各学校から推薦してもらおうと PTA 会長とかが入ってくれるかもしれない。また、来年の組織をみて申し上げようかと思う。重要な組織であるから目的の趣旨に合うような委員選考も大事ではないかと思う。
教育長	第 3 条からいくと、委員 15 人の中に入っていないのは、地域住民代表のところとなる。他は全部入っている。
事務局	この会議が、今の流れでいくと年 1 回の開催となる。今のところ、事業の校長先生に対する周知、事業概要の説明を行っている。15 人以内となっているが、この枠を広げると増員が可能となる。本課としては、全ての校長には入っていただきたいと考えていたため、今回はこの案で提案させていただいている。さきほど申しました下部組織については、会議を数回開催して、現場の声の意見や情報交換の場にしたいと思っている。より機動的な組織にしたいと考えている。

【報告第 13 号 あらお放課後子どもスポーツ教室について（生涯学習課）】

○事務局報告

○質問

委員	参加費はいるのか。
事務局	受益者負担ということで、月額 500 円と年間安全保険料として 800 円となっている。 <div style="text-align: right;">次頁に続く</div>

委員	実施時間が16時半から18時とあり、期間は9月から3月までとなっているが、帰りは暗くないのか。
事務局	授業終了時刻から鑑みてとなるのと、この時刻は今までの部活動実施時間と変わらない。また、学校によっては考え方が違うようで、例えば八幡小では部活動では保護者に迎えを条件にされていたとのことなので、このスポーツ教室においても八幡小では保護者の迎えを条件にしたいと考えている。桜山小では団地が近くにあり、すぐ近くの子どもも多くいるため、迎えが必要かどうかは判断を保護者にしてもらうようにする。暗くなるため、早く帰ることに対してはよしとしている。柔軟に対応したいと考えている。その辺りも含めて、始まってから子供達には説明したいと思っている。
委員	今年は9月から始まるが、来年度はどうか。
事務局	4月から始まる。
委員	初年度はこのモデル校3校で、来年度からはどうか。
事務局	若干でも増やしたいと考えているが、モデル校の選定においても学校の意向と部活動の社会体育移行を照らし合わせて決定したもの。一番課題となるのは指導者の確保であり、今回のように3校で4種目を3期で実施すると休みの期間が出てくるのでそのようにして今後も取り組みたい。期で分けることで指導者の負担を軽減している。できれば、体育協会とも相談して別の種目も実施したいという気持ちは持っている。
委員	モデル校全部でバレーは火・水・木とありますが、同じ指導者なのか。
事務局	同じ指導者である。
委員	1人なのか。
事務局	指導者2名に職員1名と本事業のコーディネーター1名の4名体制で考えている。バレーは3名体制になるかもしれない。
委員	万田小学校で言えば、25名の同じ子が第1期にバレー、第2期にテニス、第3期に卓球となるのか。
事務局	同じ子供達が期別ごとに種目を変えて行う。
委員	テニスをする時は自分たちでラケットを買うのか。
事務局	主催者にて全部準備する。
委員	全部準備してもらえるのか。
事務局	道具はこちらで準備する。体操服と体育館シューズとタオルと水筒を持ってきてもらえばいいと考えている。
委員	ここまでしてもらえるとありがたい。
委員	卓球台はあるのか。
事務局	卓球台についても新しくはないが必要とされる台数はこちらで準備する。指導者も卓球協会の方であるので、学校で不足する場合は協会でも協力すると言っている。
委員	基礎プログラムの方はどなたか専門の方が来られるのか。
事務局	指導者の研修会を実施したときにカリキュラム作成を委託した業者から説明

事務局	<p>を聞いたところ。それぞれにかなり量はあるが、様々な道具例えばラダーやボールを使い遊び感覚でできるような運動プログラムを作ってもらっている。それぞれの指導者用にタイムスケジュールを設定しメニューを作ってもらっている。指導者が内容をみてわからないところがあれば業者に尋ねてもらおうような形をとっている。それぞれの指導者は経験豊富な方なので大丈夫ではないかと思っている。最初と最後には子供たちに体力テストを実施する予定としている。体力テストを実施することで効果を検証したいと考えている。このプログラムの作成者は、熊本大学の教育学部の教授が理事長を務めておられる NPO 法人であり、この結果を学術的な研究材料にもしたいとのこと。ご指導いただきながら取り進めているところ。</p>
-----	---

【報告第 14 号 荒尾教育フォーラム「知ろう、話そう！あらおの教育」の開催について（教育振興課）】

- 事務局報告
- 質問

各委員	特になし
教育長	<p>パネルディスカッションでは中学生の声が中心となり、校長会、地域、PTA、私も含めて中学生の声をどのように子供達の未来に繋げていくか等を考えている。</p>
事務局	<p>内容が確定したら、改めて報告させていただく。</p>

【その他 ALT の紹介について】

- 事務局報告
- 質問

委員	<p>受け入れ側として ALT には積極的に関わって見守り、また ALT にも学べる場所は学んでいただきたい。</p>
事務局	<p>今回は、日本語での会話はかなり厳しい方もいる。伝わらない。理解できないということは現実にあるので、これから慣れていってほしい。明るくて気さくであるので、これから子供達と接していくことで日本語も上達していくと思われる。</p>
教育長	<p>今回の ALT は積極的に日本語を学びたいという意欲が見られ、家庭教師を雇ってでも日本語をマスターしたいという ALT もいる。中には、毎日、日本語でローマ字であるかもしれないが日記をつけているとも聞くので、数か月後にはすごく成長すると期待している。こちらとしてもバックアップしていきたいと考えている。</p>

【その他 9月行事予定について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第9回定例教育委員会会議は9月25日（水）14時00分から開催したいと思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第9回定例教育委員会は9月25日（水）14時00分から開催します。

教育長 ○閉会宣言 令和元年8月26日（月）14時45分

閉議 14時45分 書記 吉村 麗月